

第1回佐久市立中学校運動部活動の地域移行協議会（準備会） 会議記録

日 時：令和4年11月28日（月）

午前10時～11時35分

場 所：佐久市役所 8階大会議室

出席者：学校、地域スポーツ団体等

吉岡教育長

内藤課長、三浦係長、清水（スポーツ課）

1 開 会

2 あいさつ

3 自己紹介

4 協議事項

（1）佐久市における運動部活動の地域移行について【資料1】

（2）市立中学校への事前調査結果について【資料2】

（3）学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的な
ガイドライン（案）について【資料3】

（4）意見交換

参加の皆様から運動部活動に関する情報提供や意見交換

（問1について）

【出席者】

学校部活動のなかで楽しみたい子どもとアスリートを目指すような子どもが
混在していることが困難で状況となっている。

このため、地域での団体が出来てくると2チームの分けることも可能となる。

また、時間帯で2チームを分けることも考えられる。

子どもたちの加入率も上がるのではないか。

【出席者】

問2（5）その他に松島校長先生と同じ意見を記載してある。

資料1のなかでこのことを取り上げていてありがたい。

本気で市が地域移行の取り組みを始めたのもありがたい。

令和4年3月に市が策定した佐久市スポーツ推進計画について、本校で開催した部活動運営委員会のなかでホームページからも全て見られるので見てくださいますとお伝えし、重要なページについて説明をした。

一番言いたいことは、地域移行に関して専任の担当者が長期間に取り組んでいただけの体制で、改革をしてほしい（市の職員は異動が数年であるので）。

【出席者】

望月中や浅科中のような小規模校では、少子化や部活離れが進んでいると感じている。

今までの部活に対する価値観が保護者と子どもたちで変わってきている。

いかに部活やスポーツをやりたい子たちに機会を設けるか、本校では合同チームを毎年組んでいるような状況であるが、今後ますますこのようなことが増える。これに地域移行がうまく関わっていくといいのかなと思う。

【教育長】

私の経験からも部活動を廃部にするのはとても難しい。

今年度部員が少数でも来年度増えるかもしれないことを見越すのか、部活の数を少なくするのは非常に困難である。

このことについて、保護者が小学校までやっていた競技が中学校ではなくなってしまっても、社会の受け皿がある状況が望ましい。

部活の数を少なくすることについて地域の皆さんいかがでしょうか。

【出席者】

お話の前に県内の他の市町村がどのような状況か、先月19、20日に富山市へ研修に行ってきたので、少しお話をさせていただきたい。

県内では上田市（旧真田町）の真田中学校が真田クラブ（地域総合型スポーツクラブ）へ指導を外部委託している。

非常に進んでいる木曽の上松町は、中学校が1校しかないので、総合型クラブである「木曽ひのきっ子クラブ」が、6種目すべてを担っている。

平日は顧問の先生と外部指導者が連携して部活を行う、土日に関しては、学校の先生が継続して関わりたい方はそのまま来てクラブの指導者と指導を行っている。

また、全ての生徒と教員もクラブの会員になっている、県内では小さい市町村の方がうまく進んでいるように感じる。

北信5県のなかでは、地域移行が全体的に進んでいるのは、新潟県と石川県である。

新潟県は新潟医療福祉大学の教授が総合型クラブの顧問もやっており、県をあ

げて取り組んでいる。

新潟県の村上市から講師を呼んで研修をしたが、新潟県でも進んでいるところとそうでないところの差は大きくある。

石川県は金沢大学を中心に早くから進めているが、市町村の差は大きくある。

このままいくと中学の部活動というのは、中学の教育現場から消えるという方向で文部科学省が動いている気がするが、果たしてそれが本当にいいのかと我々含めて考える必要があるのではないか。

運動部活動というのが、中学の教育現場でどれだけ役に立って、教育の一環として他の教科の教育に影響するような形で、そこに入っていたのか、我々も学校の先生も保護者ももう一度考えないと先に進めない気がしている。

【教育長】

1点目の情報提供については、次回簡単な資料があればお示ししたい。

2点目については、文部科学省のガイドライン（案）にも教育的意義と出てきているので、やっていかないといけないが、いろいろな方に話を聞いても認識は相当違っている。

ある競技の顧問していた先生は、授業でない顔を子どもたちが見せる。

授業の際に怒ってしまったが大丈夫かなと思っていても、元気で部活をしていてよかったという経験もあったとのこと。

学校の生活と連動させているものと部活を位置づけていた。

社会移行した際に今までのように出来るのか、出来るようにやっていかなければいけない。

記載のように部活の数を少なくすることは必要だが理解を得られにくい、重要なのは他に受け皿があると進めやすい。

(問2について)

※問1で説明した内容と同様の質問のため省略

(問3について)

【出席者】

地域移行しやすいのは個人競技だと考えている。

剣道、テニス、水泳、柔道、陸上、卓球、バドミントンなどは個人で大会へ出られる。

大きな団体が出来てもハードルが低いと思う。

団体戦に出られないとか、テニスならダブルスがあったりするが、割と地域移行しやすいのではないか。

バレーとかバスケットは、大きいくくりにしてしまうと、今のルールだと1チームしか出場できない。

大きいくりにすると弊害も出てくる。
学校拠点校を作り、学校単位と分かれたグループでないと進んでいけないのではないか。

野沢中学校の柔道に関しては、旭日道場で行っているが有効に働いている。

【教育長】

他校の生徒も通っているのか。

【出席者】

他校の生徒も通っている。

今後、大会へ旭日道場名で参加するのか、野沢中学校名で参加するのか、あるいは生徒が選ぶのか。

【教育長】

大会の出場条件が出ていないので、分からないがこれは選べるのか。

【出席者】

今朝、確認してきたが選べる。

両方に席を置けないので、どちらかを選ぶ。

【出席者】

中体連の全国大会では中学校単位での出場となっているが、どうなっていくか。まだはっきりしてこない。

【出席者】

今のところ、まだ県大会までだと聞いている。

【出席者】

少し急がないと困る問題ではないか。

【出席者】

旭日道場名で参加し、県大会を優勝したら全国大会に行かれないのではないかとの声も聞いている。

【教育長】

旭日道場での部活は平日もスムーズにいつているのか。

【出席者】

練習において土日のどちらか1日しか出来ない。

試合があって追い込んでやる、どうしても2日やりたい時もあるのではないか。

1日だけしか出来ないとなると難しい面もある。

【教育長】

文部科学省はこのようにやりたい、学校ではこのように指導してきている。あまり加熱しないように、休みを入れるように。そこを変えるわけにはいかない、移行するからと言って。

【出席者】

本校の女子バスケットとサッカーは、顧問が今までやってきていない競技を指導していて非常に苦しい状況で頑張っている。

サッカー部の顧問は双子の生れ、親戚等も近くおらず部活動が負担になっている状況である。

外部から指導者に、休日の練習から生徒の精神的な面から指導していただいている。

一方でその方々に部活動指導員になっていただければありがたい。

昨年も夏休み過ぎに相談させていただいたが、会計年度職員になるため労基法に引っかかるので、残念ながら実現しなかった。

専門外の顧問が苦しんでいるので、出来れば形を変えて外部指導者に謝礼が支払えるようなシステムを構築していただけるといいと思う。

【教育長】

謝礼のことは時間をかけて、考える必要がある。

近隣の町村では外部指導者、教員の兼職兼業含めて金額が異なる。

労働基準法の関係で部活指導員になれないとは、民間で働いている人だから、民間で兼職兼業を認めていないので、部活動指導員になれないということなのか。

【出席者】

この件について先日の校長会でも話題になった。

週40時間労働というのがあって、部活動の指導をすることでこの時間を超えると、認められないということですね。

教員も同様なので、ルール変更していただかないと、教員が自分は土日やってもいいとなった場合も、40時間とは別に労働するわけで何らかのルール変更が必要と考える。

(問4について)

【出席者】

浅間中学校は、資料のとおりほぼ全ての部活動があるが、活動の場所が手狭で質の高い練習ができる環境が課題となっている。

もう1点が学区内に私立の中学校があり、浅間中学校の部活はどうなるんだ、それによって私立に行くか、行かないかといった話が現実問題ある。

他の学校の課題と浅間中が抱えている課題が違う部分があって全体の場所には出せないこともある。

地域方にお世話になった、子どもたちが大人になって地域に貢献するような循環ができるといいと思う。

具体的に検討委員会で検討できたらいいと思う。

【教育長】

中込中学校の記載に「この案件専門に関わる指導主事」とあるように非常に大きな問題と認識している。

【出席者】

個人競技ではない競技について社会体育のチームが、子どもを取り合っているのではないかということに心配している顧問もいる。

何とか上手に調整が出来ないのかなと思う。

【出席者】

個人競技からやっていくのは、賛成である。

本校には陸上部があるが、外部指導者にボランティアで来ていただいているが、指導をやっていただけの方はいて、佐久はクラブチームもあり、個人競技から移行していくのは非常に賛成できる。

先程、言ったように専門的地域移行に関わる人材の必要性和、取り急ぎは部活動指導員の枠を増やしていただきたい。

本校は3人いただいているが、ボランティアでやっていただいている方が3人いる、内心不満に思っているかもしれないが、顔に出さずにやっていただいている。

【教育長】

来年度の予算がある程度固まっているなかでは、今年度と同数の予定だが、このような場で増員の必要性を議論して、財政部局と協議をしていきたい。

【出席者】

佐久市スポーツ推進審議会でもお話できればと思っているが、佐久市スポーツ推進計画を策定していただき、本当にありがたい。

部活の持つ意義を改めて考えると子どもたちが部活から得られるものを、大き

く変えることは批判があると思う。

それを乗り越えて制度を作っていくのは大変だと思うが、よろしく願いしたい。

【出席者】

この問題については1点押しだが、学校毎に進めるのは絶対ダメだと思う。

種目毎、できる種目から行っていくスタンスがいいと思う。

学校週5日制の導入の際も2か月に1回土曜日を休みにしましょう、その次は1か月に1回休みにしましょう、1か月に2回休みにしましょうというように進めてきた。

この地域移行の問題は3年で決着がつくわけではなく、例えばバスケットボール協会がリードしてくれて月に1回土曜日だけは、どこの中学に所属していてもバスケットに親しみたい子どもを預かりましょう、そのうち月に2回預かりましょう、今度は野球が月1回預かりましょう、というように種目ごとに進めていかないといけないと思う。

浅間中のように人が多くいてどんなチームでも出来るどころと、臼田中も5クラスあったときは、そのような状況であったかもしれないが、一般の方が思っている以上に現場では生徒の減少を感じている。

岩村田以外のところは立ち行かない。

せいぜい野沢中くらいではないか。

一般の方は自分の中学生時代のイメージがあり、子どもが減っているのは現状を分かっていただけない。

中学校ごとに進めるのは絶対無理です、種目毎、そしてお願いできれば、ここに含まれていない、吹奏楽とか、美術であるとか、芸術分野もメンバーに入れていただいて、進めていくことが必要だと思う。

3年間でどこかの団体が月1回ずつ面倒を見てくれる競技が出てきた程度のことしか出来ないと理解している。

学校の先生も来年度から土日の指導は地域に任せるとは思っていない。

平日の部活もするし、土日に練習試合をやるが、何か少しずつでも進めるコーディネートを市の方で全体的に進めていただきたい。

【教育長】

週休2日制の導入の際にも社会的な受け皿もなくどうするのか話題になったように記憶している。

学校部活動の意義についても考えていきたいと思うし、文化部はブラスバンドとかマーチングとかが多いので、文化部と運動部を分けて考えており、この場には呼んでいないが、保護者や顧問から気にしている声も聞いている。

今後、すぐにやっってくださいという形にはならなくても、広い意味での情報交

換の場であるので、参加を考えていきたい。

【出席者】

土日の外部の方だけが指導に来てくださる際に学校のセキュリティの問題、鍵を開け、鍵閉め等をどうしていくのかが問題になっていくと思う。

あともう一つが、オリンピックに出場された萩谷楓さんの母校でもある。

当時、中学校に陸上部がなく、今もないですが、バスケットで練習をしながら、中込中学校の陸上部を見ている先生のところに練習に行き、力をつけていた。

本校には、剣道に所属しながら、陸上もやりたい生徒がいて、外のチームで練習をして、剣道、陸上双方の大会に出場している。

陸上の引率は顧問でもなんでも先生がしている。

難しい問題ですが、この競技をやりたいと望んだ際に、それをやらせてもらえる形になっていくといい。

また、本校に柔道部がなく、旭日の柔道に通わせてもらっている生徒もいる。

最後に、部活動指導員についてですが、来年度に向けて労基法の40時間を超えていてお願いするのは、無理だなと諦めていました。

もし、制度的なものが変わってお願いできるのであれば、改めてお願いしたいと思います。

【出席者】

佐久市内も色々な規模や地域によって学校の状況が異なる。

このため、学校毎では立ち行かないので、市の方でこのような方針を示していただいたので、市全体で進めていただくことをお願いしたい。

【出席者】

楽しくやりたい生徒と勝利を目指す生徒がいる。

私の大学時の経験ですが、同じように、楽しくやりたい学生と勝利を目指す学生がいた。

また、今年の5月に御代田中学校の外部指導者に頼まれて、指導にいったことがある。

バスケ部の部員が少なく、5～6人が外のクラブで活動している生徒がいる状況であった。

学校の部活が成り立たなくなってしまうのではないかとこのことを心配している。

いずれにしても、短期的に解決することではないが、何とかして子どものためにいい方向に持っていきたいと思います。

【出席者】

根本的なことですが、実際関係団体でこの件について動いていかなければいけないのは話題にしていました。

協会の会長や役員で在り方の検討を進めてきました。

実際にいつ、どのように動いていいのか、先程、スケジュールが出てきましたが、顧問等と話をする機会というのは、どこが設定するのか。

我々の方で設定していいのか、スポーツ課の方で進めていただけるのか。

また、具体的にバスケットボールの方がクラブチームを中心にとという話だが、先程、校長先生からもお話があったように、個人種目については我々のイメージ的にも動けるだろうと思う。

バレーボールのようなチーム競技は、どこか1カ所に集まったところで、実際に大会に出るのは中学校毎とすると、例えば人数に少ない2校～3校と一緒に練習する場所を設けて、その中でやっていく形が現実的ではないかと、協会の理事長とも話をしている。

それを見る人たちを学校毎に付けないと、休日のフットワークは軽くない。

費用はどのくらいお願い出来るのかなどの簡単に言えば問い合わせ、相談をするにも窓口がどこなのか、分からない。

その辺りを示していただけないと、具体的にどう動かそうか、それでいいのかが見えて来ないのが懸念かなと感じている。

すぐにでも動かなければならない事案だというのは、重々承知していて協会の中でも喫緊の課題として捉えているが、如何せんでどう動いていいのかわからない。

イメージはあるが果たしてそれがいいのかどうか、問い合わせ先等も踏まえてはっきりしてもらえると、こちらとしても色々相談しながら、試してみたいと思う。

【教育長】

如何にどうやって、例えば市全体の統一の基準を作るのか、是非お願いしたいのは、それぞれの独自性がありますので、バレーボール協会だったら、こういった会議に出たぞという情報は流していただいて、先程ありましたように学校毎ではないという体制でありますけど、その辺もよく考えなければいけないし、やっていく方向性自体ももう一度、2月の会議話し合っていて、その後、こうやっていく、こうやったらどうかなどを話して体制が整っていく。

それが早くても3年かかっていくかなという認識でありますので、出来ましたら、今言ったようなところ、それぞれのところで情報共有して行って、一緒に考えていきたいと思います。

先程話したように先に進めている事例である、新潟県の村上市も10年も前から取り組んで今のような形になっているので、少しずつ話し合いながら、それぞれの状況に応じて、今言えるのは全ての競技一律ではなくて、それぞれの競技で考えていただいて、特殊性を部会で来年度やって行って、ただ市全体のスタンス

はまとめていきたいという会議を始めたばかりという認識をしていただければと思います。

2月会議ではもう少し絞って、3点くらいについて話し合いたいので、お願いしますといった形で資料を事前にお送りさせていただきたいと思います。

それで学校の先生方もそうですが、ご意見がありましたら、メールで送っていただいて表にして出していきたい、これをやらないと時間がかかってしまうので、効率的に進めていきたいと考えています。

事務局から何かありますか。

【事務局】

この度、平日の昼間ということで午前10時から11時30分ということで、お仕事等お休みをいただきながら、ご参加いただいたところですが、次回の曜日ですとか、時間ですとか、皆様お集まりいただくには必要かと思いますが、今回のような時間で大丈夫でしょうか。

よろしければ後日、次回の日程はお示しさせていただきたいと思います。

なかなか皆様お集まりいただくのは難しいと承知をしているところですので、出来るだけ皆様にご参加いただけるようにしたいと思います。

【出席者】

今日は学校主体になっていると思いますが、一般の地域の方が関わる場合には、この時間帯に自由になれる時間があるかどうかがあるので、出来れば、午後の夕方の方の時間帯の方がありがたいですが、学校の先生方の考え方も含めて検討いただければと思います。

私が苦にならないが、地域の方を主体に考えていかねばいけないと思います。

【教育長】

先生方のこともあるので、夕方の方の時間帯も含めて調整しますが、先生方も日頃から部活の様子を把握いただいて具体的なお話をさせていただきたい。

また、皆様も関係する役員の方などもいらっしゃると思いますので、都合のいい方が出ただけのようにやっていただくか、あるいは多数が出席できればそこにしたいと思う。

ここに次回、2月の15日頃とありますが、流動的に考えていただければと思います。

5 その他

6 閉会